

◇アイランドシティ・未来フォーラム委員意見の集約（骨子）

1. まちの魅力向上やまちづくりを先導するための都市機能・プロジェクト

①まちづくりエリア

【居住環境（安全・安心）】

- ☆まちづくりエリアの居住環境としては、景観や治安が良く、子育てしやすい環境であり、特に照葉小中学校に代表されるように教育環境が良い。
- ☆魅力あるまちのイメージとしては、文化的に人が集う未来型エコタウンという感じ。
- ☆住民が必要としている施設は、交通機関、商業施設（小規模スーパー等）、医療機関（病院等）など。
- ☆住民の治安・防犯に対する意識が高く、交番等の警察施設の設置や警察との連携を求める声が多い。
- ☆島形式となっていることのメリット（セキュリティが容易）・デメリット（交通渋滞等）がある。

【交通アクセス・先行投資】

- ☆現状としてはバスのみで便数も十分ではないため、バスの増便や鉄軌道の導入が必要
- ☆現実的な交通アクセスの向上としては、当面、道路整備とバス路線の充実であり、そのために自動車専用道路（都市高速道路）の延伸も必要
- ☆都市交通と直結した循環型の交通網の整備が必要
- ☆まちづくりの具体的な計画を示し、文化施設や交通基盤整備などの公共投資を先行的に行うべき。
- ☆住環境では付加価値を高め、安全・安心や利便性が向上する施設の集積が必要

【産業等の集積】

- ☆アジアを見据えた産業集積や博多港の機能を活かした産業集積が必要
- ☆研究機関、開発型の戦略産業など、知的産業の集積が必要
- ☆こども病院を核とした健康・医療・福祉機能の集積が必要
- ☆こども病院にはアジアをはじめ、外国からの患者や医療関係者等を受入れるべき。

【先導的なプロジェクト】

- ☆イベントや地域活動などをコーディネートしていくような組織や施設整備が必要
- ☆まちづくりエリア全体を産業圏として捉えた実験的なプロジェクト、あるいはスマートシティづくりのためのショーケースや社会実験などを行う。
- ☆物流やマーケティング機能を持ったエンジニアリングセンターを立地し、フリーゾーンとして規制緩和や税制優遇などを兼ね備えたエンジニアリングパークのような整備を行う。
- ☆従来型の見本市会場としてのコンベンションセンターではなく、学術・産業交流の拠点となるような、あるいは情報管理や文化的機能を持つ大規模コンベンションセンターが必要
- ☆物流と情報の統合による新しい形の中核施設の検討が必要

◎提案されている具体的な都市機能施設等

- ★文化（県立美術館）・環境・データ（メディア）センターを兼ねたコンベンションセンター
- ★大規模コンベンションセンター
- ★情報発信・まちづくり拠点施設（例として柏の葉アーバンデザインセンター）
- ★フリーゾーンやワンストップサービス機能を備えたエンジニアリングパーク
- ★イベント型のソフトコンテンツによる地域活性化
- ★小規模スーパー（ドラッグストア）・レストラン（喫茶店）・病院・郵便局・スポーツ施設
- ★リハビリテーションなども含めた総合的な医療施設・宿泊施設 ★ビルの霊園
- ★図書館・銀行ATM・駐車場・防犯灯・監視カメラ ★災害時の緊急避難施設・消防署
- ★交番・警察官詰所・警察施設（機動隊・自動車警ら隊・交通機動隊・機動捜査隊）
- ★アジアや世界を意識した人的文化的交流の場としての教育機関・学校
（例として秋田県の国際教養大学・大分県の立命館アジア太平洋大学）
- ★エコや環境を学べる文化施設
- ★高速道路の乗り入れ・鉄道の導入・バス営業所の誘致・バスの増便
- ★電気自動車、LRT、BRT、セントラム等の新交通システム

②みなとづくりエリア

【港湾機能の強化・先導的なプロジェクト】

- ☆博多港の特色や強みを整理し、アジア・日本・日本海側における戦略的な港湾機能の強化が必要
- ☆国際RORO船の有効活用や国際コンテナターミナルの整備を急ぎ、博多港の各ふ頭の機能整理を行い、効率が良く競争力のある港湾機能整備が必要
- ☆青果市場等を核とした、食をテーマにしたイベントやフードセンター的なプロジェクトによる集客の仕組みをつくる。

◎提案されている具体的な都市機能施設等

- ★青果市場を核とした食の市場、マルシェ、インポートマート、グルメタウン、屋台タウン、福岡フードセンター
- ★食品加工、流通加工、部品加工といった付加価値を備えた物流倉庫の設置
- ★コンテナターミナルDバースの早期整備

2. 企業等のニーズに対応した立地促進等

- ☆立地促進のためのメリットやビジョン，エリアの優位性を示し，先行的な公共投資が必要
- ☆土地分譲だけでなく，事業用定期借地などにより土地の流動化が必要
- ☆立地交付金等の補助金の拡充や分割払いのようなインセンティブの充実が必要
- ☆規制緩和により，海外からも含めてベンチャーや起業しやすい仕組みづくりによる企業誘致が必要
- ☆立地は価格の問題だけではなく，立地のメリットを高めるためのインセンティブや付加価値づくりの検討が必要
- ☆投資の回収は，都市全体で回収するといった発想，分譲価格だけでなく，税収で回収するといった発想が必要
- ☆土地価格については，みなとづくりエリアは価格を下げる工夫が求められるが，まちづくりエリアでは価格を下げる発想ではなく，付加価値を高める工夫が必要

◎具体的な施策

- ★事業用定期借地
- ★固定資産税の優遇
- ★税制・金融面での優遇
- ★規制緩和
- ★立地交付金，補助金の充実
- ★分割払い
- ★総合保税区の設定
- ★土地価格の低減

3. 市民・企業等への理解促進策

- ☆アイランドシティのネガティブイメージを払拭し，住環境の素晴らしさなどを積極的に発信することによるブランドづくりが必要
- ☆先進的なコンテナターミナルなど港の機能を教育の場として活用することにより，事業の理解促進を図るとともに，港湾機能の重要性の発信が必要
- ☆アイランドシティに地元が中心となった情報発信やまちづくりの拠点施設が必要

4. 他機関との協力・連携

- ☆総合特区の活用などアイランドシティをナショナルプロジェクトに仕立て上げる戦略が必要
- ☆港湾整備やインセンティブの策定では国や県との連携が必要

5. その他

- ☆アイランドシティの都市機能を考える上で，博多湾，福岡市，九州，日本海沿岸，日本全体，そしてアジアから見たときにどういう機能が必要か，将来展望を踏まえて考えるべき。
- ☆アイランドシティの特性や強みを踏まえたまちづくりが必要
- ☆アイランドシティを福岡の顔，モデル，ランドマークになるような場所にするべき。
- ☆みなとづくりエリアとまちづくりエリアの交流や調和を考えるべき。